JOIN会員コラボ事例３　　（株）ツヴァイ×茨城県常陸太田市・行方市

地方の農家と都会の女性を縁結ぶ“農業婚活”

独身農家と都会の女性をマッチング！嫁不足に悩む農村の救いの女神に！

今、都会に暮らす女性の価値観や求めるライフスタイルに変化が生まれている。自然や土と触れる農的な暮らし方を求めて、積極的に地方の農村へ足を運ぶというのだ。
一方、地方の農村では、農家の嫁不足に悩み、農業の担い手や後継者の確保が大きな問題となっている。
そんな両者のニーズに対して、ツヴァイでは、農家の嫁不足に悩む地方の自治体と連携し、農業体験を通じた農家との出会いの企画「農業婚活」を実施。
「農家の嫁になりたい都会の女性なんて本当にいるの？」
そんな自治体の不安をよそに、都会から大勢の女性が参加し、企画は大成功！
手応えを得たツヴァイでは、地方活性化事業として本格的に取り組んでいく。

自然体験で〝婚活〟を

22日、行方市参加者募集

行方市主催の婚活事業「自然交流体験IN行方市」が22日、同市自浜の県立自浜少年自然の家などで行われ、女性参加者を募集している。委託事業者はツヴァイ。

当日は、サツマイモ収穫体験やバーベキューなどを行う。同市在住で農業を営む20～40歳の独身男性が参加する。

女性参加者は土浦駅に集合し、送迎バスで行方市へ移動する。現地集合の人は、同市玉造甲の霞ケ浦ふれあいランドへ。女性定員は20人で、応募資格は20～40歳の独身。参加費4千円。締め切りは16日必着。応募多数の場合は抽選。

申し込み方法は①郵送②ファクス③電子メールで、電話では受け付けない。申し込み先は「ツヴァイ　事業化推進部内　自然交流体験事務局」〒100-0011　東京都千代田区内幸町1の1帝国タワー11階、ファクス03（3519）7418。問い合わせはツヴァイ同事務

農業体験で〝お見合い〟

首都圏の女性11人迎え

農業体験を希望する首都圏の独身女性と常陸太田市内の農業後継者たちが8日、同市の畑でジネンジョ掘りを通して交流した。結婚相談事業を展開しているツヴァイ（東京）と、同市が結婚推進を委託しているNPO法人グリーンピュア常陸太田（菊池保裕理事長）が共同で実施。同社から市に「農業体験を希望している女性がいるので、交流会とセットでできないか」と提案があり、実現した。同社では初めての試み。

交流会には30代から40代の女性11人と、市内の同代の農業・果樹栽培後継者13人が参加。「茅根町自然薯研究会」（梶山忠三会長）の協力で、同町の畑でジネンジョ掘りを楽しんだ。

男女それぞれ2～3人に分かれ、力を合わせて1メートル超えるジネンジョを掘り出すと、歓声が上がり、打ち解けた雰囲気の中、収穫に精を出した。

収穫後は県立西山研修所に場所を移し、バーベキューやゲームを楽しんだ。

会話も弾み、和やかな雰囲気で交流できたためか、「あっという間に一日が過ぎた。もっと時間が欲しい」「また、ぜひ参加したい」という声も聞かれ、好評だった。

（庄司元基）

常陸太田 JOIN マッチング事例

○参加した独身女性へのアンケートでは

Q「参加した理由は？」
⇒半数が「農業男性との出会い・農業に興味」

Q「また参加したいですか？」
⇒8割が「また参加したい！」

農村活性化に大きな効果が期待できる新たな取組みに
JA・自治体が注目。早くも各地から問合せ多数！